

要請番号 (JL50325A10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ボツワナ	C201 家畜飼育・飼料作物		個別	新規	2年	・2025/3・2026/1・2026/2



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

子ども福祉・基礎教育省

2) 配属機関名 (日本語)

トゥット・ボスワ リハビリテーションセンター
NGO

3) 任地 (サウスイースト県ラモツワ) JICA事務所の所在地 (ハボロネ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

任地のラモツワは、ボツワナ南東部に位置する人口約3万人の小さな町。配属先は1981年に設立されたNGOで、16歳から35歳までの発達障害や知的障害を持つ若者に職業訓練やリハビリテーションを提供している。センターでは、園芸、洋裁、革細工の指導の他、日常生活に必要なスキルや基礎的なコンピューター操作も指導している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は既に実施している野菜や観葉植物、果樹栽培を拡大し、家畜飼育を含む複合型農業への移行を計画している。現在は職業訓練、施設内での消費、収入創出のため小規模の養鶏、養兔、養蜂も行っている。今後、養豚、魚の養殖、小規模畜産(繁殖、食肉、乳製品製造)分野を強化していくことを想定しているが、その分野を指導できる人材がいなかったため今回の要請に至った。派遣された隊員には同僚とともに、センターの家畜飼育や畜産に関する知識や技術を高め、職業訓練を受ける学習者に指導することが期待されている。現在、マーケティング隊員が活動中で、青少年活動の隊員要請も出ているため、他の隊員と協力して活動することになる。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚と協力して、主に以下の活動を実施する。

- 家畜飼育や作物栽培の手順、設備のメンテナンス、安全上の注意点等を学習者に指導する。
- 家畜の餌やり、飼育小屋の掃除、メンテナンス等の仕事を学習者に割り振る。
- 家畜の飼料、体重、健康状態、乳量などを調査し、飼料の配合や繁殖計画を作る。
- 家畜の飼育設備や機器等を点検し、必要な作業を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

畑(3.8ha)、養鶏小屋、養兔小屋、講義用の教室、執務室

4) 配属先同僚及び活動対象者

事務職員:10名(30歳~47歳)

職業訓練講師:6名(37歳～52歳)
リハビリテーション部門担当者:1名(36歳)
ボランティア(卒業生含む):10名(20歳～36歳)
活動対象者:職業訓練生徒(16歳-35歳の発達障害・知的障害を持つ男女約60名)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（専門学校卒）農学系 備考：実技指導をするため

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：実技指導をするため

[汎用経験]：

- ・ NGO・NPOでの活動経験
- ・ 障害者を対象とした活動経験

[参考情報]：

- ・ 専門学校卒または大卒 必ず
- ・ 農学系または畜産系 必ず

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（0～40℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

[配属先Facebook](#)

派遣前語学訓練では英語、現地語学訓練ではツワナ語を学習する。